

2014年度 事業報告

1. 総会、役員会、委員会の活動

① 総会の開催

2014年度総会 5月26日(月) 都島児童センター

② 役員会

③ 施設長会の開催 9月29日(月)、3月5日(木)

④ 各種委員会の開催

- ◆ 企画委員会 事業等の企画・運営・調整
 - ◆ 拡大企画委員会 事業等の企画・運営
 - ◆ 研修委員会
 - ・ 各種分野別研修会等の計画・実施
 - ① 地域のお年寄り研究会
 - ② セツルメント研究会
 - ③ 地域の障がい児・者研究会
 - ④ 地域の子ども研究会
 - ⑤ 卓球指導者研修会
 - ⑥ 地域の子育て支援研究会
 - ◆ 自然体験施設事業委員会
 - ①びわこ青柳浜 セツルの家の運営と活動
 - ②奈良県東吉野村 山の家の運営と活動
ワークキャンプ活動(小・中・高生)
 - ③びわこセツルの家改修工事
- 《 特別委員会 》
- ◆ バザー実行委員会 第16回自然体験施設応援バザーの企画、運営
 - ◆ 全国研修会準備委員会 日地協主催 第19回全国地域福祉施設研修会大阪大会
 - ◆ 全国児童部会準備委員会 日地協主催 第13回全国地域福祉施設研修会児童部会

2. 年間行事と主な出来事

| | | |
|----------|----------------------|------------|
| 4～12月 | 兵庫県東吉野村山の家ワークキャンプ活動 | 東吉野村山の家 |
| 4～3月 | 奈良県東吉野村 山を家の利用 | 東吉野村山の家 |
| 5月24日 | 第29回 ともだちドッジボール大会 | 長居小 |
| 5月26日 | 大阪市地域福祉施設協議会総会 | 都島児童センター |
| 7月19～20日 | 第56回 大都市社会福祉施設協議会 | 大阪市 |
| 7～8月 | びわこキャンプ場 セツルの家の利用 | 滋賀県大津市青柳浜 |
| 9月14～15日 | 第13回 全国地域福祉施設研修会児童部会 | 東海地区 |
| 11月2日 | 第44回 ともだち運動会 | 都島映グランド |
| 1月25日 | 第16回 自然体験施設応援バザー | 今川学園 |
| 2月7日 | 第20回 こども将棋大会 | 育徳園早川記念ホール |
| 2月20～21日 | 第19回 全国地域福祉施設研修会 | 大阪市 |
| 3月7日 | あそび王国 | 長居小学校 |
| 3月12日 | 全国研修会振返り会 | 吾作どん |

3. びわこキャンプ場セツルの家の運営

①年間事業計画

- ・ 5月8日 セツルの家下見 セツルの家
- ・ 5月20日 セツルの家 利用打ち合わせ会 長居保育園
- ・ 6月15日 セツルの家 ワークキャンプ セツルの家
- ・ 7月4日 セツルの家 開設準備 セツルの家
- ・ 7月～8月 セツルの家 夏季利用 セツルの家
- ・ 8月22日 セツルの家 消防訓練 セツルの家
- ・ 9月5日 セツルの家 夏季利用片付け セツルの家
- ・ 9月～3月 セツルの家 夏季外利用 セツルの家

②施設整備

- ・ 足洗い場シャワー栓、取替設置
- ・ 本棟台所、冷蔵庫上天井に換気扇取り付け工事
- ・ びわこ遊泳場、ブイ購入

③利用施設 23施設

④利用泊数

- ・ 39泊、日帰り 1日

利用延べ人数 2723人

| | | |
|----|------------|-----------------|
| 内訳 | 幼児・児童 | 2011人（障がい児 91人） |
| | ボランティア・保護者 | 328人 |
| | 職員 | 384人 |

⑤利用施設からのアンケート

- ・ 台所、冷蔵庫上の換気扇取り付け、大変効果があり良かった。
- ・ 東隣の水上バイクが飛び込み台ギリギリまで接近し、危険を感じた。
- ・ 台風の影響で、飛び込み台が沖に流されたが、発見することができた。
- ・ オレンジブイ、白ブイを購入し、張り直す。
- ・ 突然の突風や雷雨があった。気象条件に気をつけたい。
- ・ 台風の影響で宿泊の取り止めや日程変更、宿泊数の縮小があり、残念であった。
- ・ 毎年、施設の設備が快適になりありがたい。
- ・ トイレの汚水槽からの悪臭がある。

⑥担当 宮川・竹内（長居保育園）

4. 東吉野村. 山の家 の 運営 と 活動

① 山の家 利用 実績

2014年度 東吉野村 山の家 利用報告(2014年 4月 1日～2015年 3月 31日)

| 日 付 | 利用者 | 利用形態 | 日数 | 利 用 内 訳 | | | | 計 | 利用料金 |
|--------------|-----|------|----|---------|-----|-----|----|-----|--------|
| | | | | 小未満 | 小学生 | 中高生 | 大人 | | |
| 4 月 29 日 | 個人 | 日帰り | 1 | 0 | 0 | 0 | 14 | 14 | 4,000 |
| 5 月 4～5 日 | 個人 | 1泊2日 | 2 | 0 | 2 | 3 | 5 | 10 | 9,000 |
| 7 月 5～6 日 | 団体 | 1泊2日 | 2 | 0 | 8 | 0 | 3 | 11 | 8,800 |
| 7 月 26～27 日 | 団体 | 1泊2日 | 2 | 0 | 0 | 0 | 7 | 7 | 9,900 |
| 8 月 2～3 日 | 団体 | 1泊2日 | 2 | 0 | 10 | 0 | 3 | 13 | 10,000 |
| 8 月 12～13 日 | 個人 | 1泊2日 | 2 | 0 | 0 | 0 | 4 | 4 | 8,400 |
| 8 月 13～15 日 | 個人 | 2泊3日 | 3 | 0 | 0 | 5 | 5 | 10 | 18,000 |
| 9 月 7 日 | 団体 | 日帰り | 1 | 0 | 16 | 0 | 18 | 34 | 4,000 |
| 9 月 20 日 | 団体 | 日帰り | 1 | 0 | 12 | 4 | 4 | 20 | 4,000 |
| 11 月 11～12 日 | 個人 | 1泊2日 | 2 | 0 | 3 | 0 | 7 | 10 | 9,600 |
| 11 月 23～24 日 | 個人 | 1泊2日 | 2 | 0 | 0 | 0 | 3 | 3 | 8,300 |
| 合 計 | | | 20 | 0 | 51 | 12 | 73 | 136 | 94,000 |

山の家事務局 多賀井 潤一郎

5. 自然体験施設応援バザー

① 第16回 自然体験施設応援バザー

『Let's Party いまがわ バザー』

日 程 2015年 1月 25日(日) 11:00~15:00

場 所 社会福祉法人 今川学園保育所(バザー会場)

テ ー マ ①自然・エコ(eco)

未来の子どもたちのために、かけがえのない自然を見つめなおす。

②地域

地域文化や資源を理解し、住民のエネルギーを活用する。

③人

人と人がつながり、参加する一人一人が主役となる。

④力

だれもが持っているエンパワメントの発掘と活用を行う。

⑤大地協

大地協の理念とレゾナートル(存在理由)をみんなで共有する。

参 加 者 スタッフ(中高大学生・地域のボランティア含む)約200名

収 益 924,851円

感 想

- ・ 今回は、早期からバザーTシャツを着用できるよう製作・販売を行った。また、特設ステージを保護者の協力のもと設置し、1日を通して催し(漫才・オペラ・バンド・人形劇等)を行い来場者に楽しんでもらえるようにした。新しい試みとして、ファッションブースを館内に設置し、職員の知人・友人等の力を借りながら、ネイルアート・フェイスペインティング等をワンコインで行い、大人も子どもも楽しめるよう工夫を凝らした。
- ・ 当日は大阪マラソンと重なり、シャトルバスの運行が難しかったことや、交通規制がされ会場に辿り着くまで時間を要したことなど開催日を決定する際にもう少し調査が必要であった。
- ・ バザー物品の残り品をどうしていくかを事前にもう少し計画立てておく必要があった。
- ・ 今回のバザーを通して『新たな人との繋がり』はできたと思う。

6. ワークキャンプ

①活動報告

○ワークキャンプ全5回（山の家5回）

| 日 程 | 内 容 | 参加 施設数 | 車 両 | 参加人数 | | |
|--------|------------------------|-----------|--------------------|------|----------|----|
| | | | | 学生 | 大人 職員 | 合計 |
| 4月27日 | 山の家開設作業 | 5 | マイカ 0 台 ワゴン 1 台 | 0 | 7 | 7 |
| 5月25日 | 山の家周辺整備 野外料理 | 6 | マイカ 0 台 ワゴン 3 台 | 13 | 9 | 22 |
| 9月21日 | リバートレッキング (5年生以上対象) | 8 | マイカ 2 台 ワゴン 1 台 | 43 | 14 | 57 |
| 10月19日 | バザー用木材収集 薪作り・清掃 | 2 | マイカ 1 台 ワゴン 0 台 | 1 | 2 | 3 |
| 12月 7日 | 冬支度 | 4 | マイカ 0 台 ワゴン 1 台 | 0 | 5 | 5 |
| 合 計 | | | | 57 | 37 | 94 |

- ・ 一昨年より中高生以上を対象として活動してきたが、昨年度、今年度と年々参加者が減少している。その大きな原因として、各施設の職員の入れ替わりがあると考えられる。新たに子どもの家・児童館の指導員となった職員はOBやOGに誘い掛けにくく、また、誘い掛けでもOB・OGがあまり関わりのない職員とでは参加しづらい。この現状は、ワークキャンプ活動の内容の工夫のみでは改善出来ないため、各施設のOB・OGの活動に対する意識も高めていく必要がある。そして、ワークキャンプ活動をどういった方法で行なっていくのかということも今後十分に議論する必要がある。

②会計報告

| | | |
|-----|-----------|---------------------------|
| 収 入 | 172,036 円 | (自然体験施設事業会計より) |
| | 33,500 円 | (参加費) |
| 支 出 | 205,536 円 | (交通費・食費・雑費・備品代・活動費・材料費など) |

7. 職員の研修会の開催・参加

① 全国地域福祉施設研修会 第13回児童部会

- ◆ 日 程 2014年 9月14日(日)～ 15日(月祝)
- ◆ 開催場所 日本児童育成園、長良川スポーツプラザ
- ◆ テーマ 「子どもの苦しい、楽しいに寄り添い 共に生きる」
- ◆ 主催 日本地域福祉施設協議会
東海地域福祉推進協議会

② 2014年度 第19回全国地域福祉施設研修会

- ◆ 日 程 2015年 2月20日(金)～ 21日(土)
- ◆ 開催場所 大阪キリスト教短期大学
- ◆ テーマ 「なんでやねん！から始める地域福祉」
～地域は今日の様々な貧困問題にどう向き合うか～
- ◆ 主催 日本地域福祉施設協議会
NPO 大阪市地域福祉施設協議会

8. 各種分野別研修会

I. セツルメント研究会

① 年間のねらい

日本の社会は、福祉課題を縦割り行政による細分化・同質化といった合法的な方法で解決しようと取り組んできました。しかし、福祉課題は、地域で生まれ、地域に定着していきます。地域が福祉ニーズの「発生の場」であるならそこを「解決の場」そして「予防の場」となるために地域福祉の源流である『セツルメントの発想』を持ち、現在の社会問題から私たち地域福祉施設・職員の役割を考えていきたいと思えます。

② 活動報告

- ・ セツルメント研究会の地域福祉に関する調査(アンケート)の実施。
【調査実施先】…東京・横須賀・東海地区・大阪
- ・ セツルメント研究会の地域福祉に関する調査(アンケート)の回収。
【アンケート回答数】…244回答
- ・ セツルメント研究会の地域福祉に関する調査(アンケート)回答の読み込み。回答ダイジェスト版の作成。
- ・ 第19回全国地域施設研修会(大阪大会)分科会で、調査(アンケート)の回答をもとに分科会で発題。

II . 地域のお年寄り研究会

①年間のねらい

- ・ 講演会や勉強会を通して、職員のスキルアップを行い、地域に目を向けていく大切さを理解する。
- ・ 他施設の職員と交流機会を持ち、自施設の業務改善、職員の質の向上につなげる。
- ・ デイサービスの利用者という考えではなく、地域で生活しているお年寄り という考えで地域との関わり、家族との関係にも目を向けていく。

②活動報告

○デイサービスのレクリエーション発表会

日時:4月 24日(木)

場所:特別養護老人ホームいくとく 2階

参加:26名

○講演会『遺品整理から見る高齢者支援』

日時:6月 19日(木)

講師:株式会社メモリーズ 代表取締役 横尾 将臣先生

場所:特別養護老人ホームいくとく 2階

参加:45名

○講演会 『精神疾患と支援のポイント』

日時:12月 11日(木)

講師:浅香山病院医療福祉相談室 精神保健福祉士 柏木 一恵先生

場所:特別養護老人ホームいくとく 2階

参加:大地協加盟施設 43名 外部 11名 計 54名

③年間のまとめ

デイサービスのレクリエーション紹介では、デイサービスが日々行っているレクリエーションについて、他施設の取り組みを体験・情報交換することにより、利用者に幅広いレクリエーションを提供できることを目指し行った。翌日から実践できるものばかりで実りのある発表会であった。

遺品整理の講演会では、普段関わる事の少ない分野からのお話という事で、非常に興味深いものであった。遺品整理を行っていくなかで、本人や家族の気持ちをその観点から話していただき、高齢者支援を見つめ直す機会を持つことができた。

精神疾患の講演会では、主に統合失調症の理解、経過、治療に関する知識を学び、そういった疾患を持つ方が地域で生活していくうえで、どのようなサービスを利用する事ができるのか、また生活を妨げる要因は何か等をわかりやすく講義して頂くことで精神疾患に関する理解を深めることができた。

今後もケース検討会や講演会を継続して開催していき、高齢者に関わるスタッフのスキルアップに繋がるような活動を行っていく。

Ⅲ. 地域の子ども研究会

①年間テーマ

「地域の子どもたちの豊かな生活・成長を目指す」

②活動報告

○合同行事の実施

| | | |
|-------------------|------|-----------------------------------|
| ドッジボール大会 | 開催時期 | 2014年5月24日(土)1日開催 |
| | 参加人数 | 9施設 307名 |
| | 方法 | 午前…予選リーグの実施 午後…勝者・敗者共にトーナメント |
| ともだち運動会 | 開催時期 | 2014年11月2日(日)※雨天のため午前開催 |
| | 参加人数 | 10施設 320名 |
| | 方法 | 夏休みを利用して施設内で競技の相談。 運動会本番で実施する。 |
| 将棋大会 | 開催時期 | 2015年2月7日(土)午後開催 |
| | 参加人数 | 9施設 103名 |
| | 方法 | レベル別を実施 団体戦・多面指し・動物将棋・クイズ |
| あそび王国 | 開催時期 | 2015年3月7日(土)午後開催 |
| | 参加人数 | 11施設 200名 |
| | 方法 | 遊びコーナー・段技名人戦・施設対抗戦・イベントの企画 |
| 大地協バザー (中高生活動) | 開催時期 | 2015年1月25日(日) |
| | 方法 | 当日ブース担当 |

○情報交換

学童期の子どもたちと関わる指導員同士、日々の現場での悩みなどをケース検討という形で共有し、個々の視野を広げ、スキルアップへ繋がるように実施した。

| | |
|------|--|
| 情報交換 | 担当施設がテーマ設定。全員でテーマについて話し合い共有。 テーマ設定は担当施設に一任する。 |
|------|--|

○研修

| | |
|---------------------|--|
| キャンプファイア研修 6月26日 | 当日は雨のため室内で実施。キャンプファイアのプログラムを講師の先生に紹介してもらう。 |
| 卓球指導者研修会 6月20日 | 指導者向けの研修内容を講師の方に依頼し実施 |

○研究活動

| | |
|----|---|
| 方法 | 2014年度は2チームに分かれて行う。前半は盛り上がるものの、後半に連れて活動が消極的になる。1年続けていける工夫が必要。 |
|----|---|

IV. 地域の障がい児・者研究会

①活動の基本方針

「地域の中で暮らしていくうえでの問題とは何か明確にする」・・・発見

「地域の中で暮らしていくうえではどのような支援が必要なのかを明確にする」・・・実践

「共に学び、共に語る」・・・対等

②活動報告

- 5/13 今年度の研修等の日程と内容の検討ほか <平和の子>
- 6/10 現場職員から実情を学ぶ～打ち合わせ会 <育徳園>
- 6/17 放課後等デイサービス事業所訪問
第1回 東田辺 ちゃんぷる (研究会より5名参加)
- 8/21 放課後等デイサービス事業所訪問
平野 藍第二くれよん(研究会より6名参加)
- 9/9 放課後等デイサービス事業所訪問 報告会 <平和の子>
今年度後半の活動の確認
- 2/2 第2回支援者座談会に向けて 内容の検討 <望之門>
- 2/15 平野区子育て子育て支援事業
「発達障がい児者 暮らし市」(研究会より4名参加)
- 2/25 発達障がい児者 暮らし市 報告会 <育徳園>
第2回支援者座談会 打ち合わせ会
- 3/3 第2回支援者座談会
※育徳園 幸分ホールにて 29名参加(大地協加盟施設以外5施設)

- ・今年度の活動の柱である「外部の職員から学ぶ、他の研究会や研修会への参加」を念頭に、個々のメンバーが可能な活動を実施し、その後の報告会を通して、全体で理解を深めてきた。
- ・第2回支援者座談会では、今年度の活動を通して関わった外部の方の参加があった。次年度の活動も新たなつながり作りを模索したい。

V. 地域の子育て支援研究会

① 年間テーマ

『人に関わる・人に寄り添う・違いを受け止める』

② 活動報告

○研修会 “学ぼう！知ろう！実践しよう！”

～新制度がスタートする今 保育者に求められるものは何か?!～

日 程 2015年 3月 11日(水)14:00～16:00

場 所 大阪市立社会福祉センター 3階 第1会議室

参加者 21施設 43名

【内 容】

●現代社会を振り返る(グループディスカッションにより3つの課題を考える)

現在の人口は約1億2700万人だがピーク時の2008年から約80万人の減少

<課題 1> なぜ人口は減少しているのか？

- | | | |
|----------|---------------------|------------|
| ・母親の社会進出 | } キャリアをもつ 女性が増えた | ・貧困 |
| ・晩婚化 | | ・子育ての困惑 |
| ・結婚しない | | →育児援助者がいない |

<課題 2> どうして人口が減ると困るのか？

- ・家が絶える ・日本経済の低迷 ・高齢者を支える力がなくなる
- ～人口の増加は 「経済、社会の活力の源」～

<課題 3> 国としては どんな対策を打ちたいと考えているか？

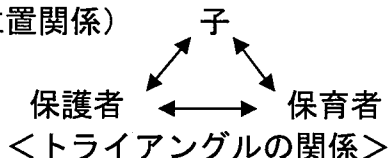
- | | | |
|-----------|---|---------|
| ・子育て支援の充実 | } <u>働きやすい</u> <u>子育てしやすい</u> 教育を受けやすい 産みやすい | ●私たちの課題 |
| ・社会保障の充実 | | |
| ・地域力アップ!! | | |

●子ども・子育て支援新制度が目指すもの → 待機児童解消と子育て支援
(ねらい) 「量的拡大」と「質の改善」

↓
安心安全な子育て環境

●私たちの課題

- ・保育や自分たちの見直しが必要 … 目標、保育課程、指導案
- ・子ども 保護者への対応 … 共感する大切さ＝言葉ではなく気持ちを受け止める
(位置関係)



保育者と保護者は子育てをするパートナー
＝指導者ではなく同じ位置関係

③ 課題

- ・研究会のスタッフが2施設4名のため活動の視野が狭くなっている。研修会で研究会の存在を伝え、メンバーを増やして活気ある研究会にしていきたい。

VI. 卓球指導者研究会

① 活動方針・ねらい

卓球指導者研究会は、“大阪市子ども卓球大会の開催”と“卓球指導者研修会の実施”を行う。

大阪市子ども卓球大会では、卓球を始めたばかりの子から、全国大会上位入賞を目標とする子どもたちまでが、それぞれレベルにあった試合や練習ができる大会運営を行う。また、大阪市地域福祉施設協議会加盟施設以外の卓球チーム等に積極的に参加を呼び掛ける。大会では、卓球を通じた交流の場となり、夢や目標を持った子どもたちの活躍の場となるように目指す。

卓球指導者研修会では、講師を招いた実技研修を行う。学童保育や児童館等の指導員及び、卓球指導に興味をもった誰もが参加できる研修会を目指す。内容は、ラケットの握り方や構え方といった基本的なものの確認から、日々の練習で実践できる練習方法等を学ぶ。開催時期は1学期に行い一年間通した指導に活かせるようにする。研修に参加することで、施設での練習方法を見直し、工夫した練習方法を知り、子どもたちがより卓球を楽しみ、取り組みやすくなるようにする。

② 活動報告

○卓球大会の実施

| 日程 | 大会 | 会場 |
|-----------|------------------|------------------|
| 2015年3月1日 | 第623回 大阪市子ども卓球大会 | 大阪市立昭和中学校 体育館 |

○卓球指導者研修会

日時:2014年6月20日(金)10:00~12:00

場所:今池こどもの家

講師:寺田 憲治 氏(ご自身も卓球で活躍され、現在はT's ZERO+にて子どもたちに卓球を広める活動をされています)

③ 振り返り

- ・ 大阪市子ども卓球大会では、会場の確保が難しくなっている課題があるが昭和中学校のご厚意により開催できた。大会では、子どもたちが1年を通じて練習を積み重ねてきた成果を発揮する機会となった。特に低学年や初めての対外試合の児童にとっては、上手な子どもを見ることも刺激となった。また、大会が早く進んだためダブルスの練習試合や小学生が中学生に挑戦するコーナーやドライブを特訓するコーナーを設置した。
- ・ 卓球指導者研修会では、各参加者が卓球指導で困っていることや卓球をする環境等を出し合い、参加者の学びたいことに沿って講師の先生よりご指導頂けた。基礎的な練習方法の振り返りから、新作の練習方法等も教えて頂き、たくさんの学びがある機会となった。今後も幅広く参加を呼び掛け、活気ある研修会にしていきたい。

9. 職員厚生部

①活動報告

| 日時 | 内容 | 参加者 |
|------------|--------------------------------|---------------------------|
| ・ 12月2日(火) | 忘年会(全国研修懇親会会場下見) (ホテルバリタワー) | 12施設 27名 |
| ・ 3月12日(木) | 全国研修会振り返り会 (吾作どん 西田辺店) | 13施設 32名、個人会員1名 合計 33名 |

10. 広報宣伝部

①ねらい

ホームページ・大地協通信を中心に、各研究会・研修会などの大地協の取り組みを、活動に協力・賛同いただいている方々(加盟施設、個人会員、利用者等)に報告する。

②活動計画

(1)ホームページの運用(<http://daichikyo.web.fc2.com/>)

- ・ 各研究会の活動報告
- ・ 自然体験施設の活動報告
- ・ 研修会、イベント(バザー等)の案内

(2)大地協通信の発行

- ・ 発行できない月が多かった。

2014 年度 特定非営利活動に係る事業会計 収支決算書

特定非営利活動法人 大阪市地域福祉施設協議会

2014年 4月 1日 から 2015年 3月 31日 (単位 円)

収入の部

| 科 目 | 決算額 | 予算額 | | 備 考 |
|-----------------|------------|------------|-----------|--|
| 1 会費収入 | 618,000 | 645,000 | △ 27,000 | |
| ① 正会員会費収入 | 570,000 | 600,000 | △ 30,000 | 15,000×38施設 |
| ② 賛助会員会費収入 | 48,000 | 45,000 | 3,000 | 個人15、賛助1 |
| 2 事業収入 | 5,340,943 | 5,580,000 | △ 239,057 | |
| ① 調査研究・研修事業収入 | 25,500 | 100,000 | △ 74,500 | 参加費(お年寄り研究会・地域の子育て研究会学習会) |
| ② まちづくり事業収入 | 0 | 0 | 0 | |
| ③ スポーツ文化的事業収入 | 239,600 | 250,000 | △ 10,400 | ともだちドッジボール大会、ともだち運動会 子ども将棋大会、春のあそび王国等 |
| ④ 自然体験事業収入 | 5,075,843 | 5,180,000 | △ 104,157 | バザー収益 924,851 びわこセツルの家 3,627,440、山の家 127,552 毎日新聞より 80,000、善意銀行 200,000 府地域福祉基金 116,000 |
| ⑤ 小中高生の生活体験事業収入 | 0 | 50,000 | △ 50,000 | |
| 3 寄附金収入 | 42,727 | 56,000 | △ 13,273 | 本部42,727 |
| 4 雑収入 | 709 | 200,563 | △ 199,854 | |
| ① 受取利息 | 709 | 563 | 146 | |
| ② 雑収入 | 0 | 200,000 | △ 200,000 | |
| 5 前年度繰越金 | 5,137,937 | 5,137,937 | 0 | |
| 収入合計 | 11,140,316 | 11,619,500 | △ 479,184 | |

支出の部

| 科 目 | 決算額 | 予算額 | | 備 考 |
|----------------|------------|------------|-------------|-------------------------------------|
| 1 管理費 | 435,930 | 270,000 | 165,930 | |
| ① 事務費 | 133,486 | 100,000 | 33,486 | 振込手数料、HP管理料等 |
| ② 会議費 | 165,944 | 70,000 | 95,944 | 役員会、企画委員会、打ち上げ補助等 |
| ③ 会 費 | 136,500 | 100,000 | 36,500 | 大阪市施設協・日地協・大都市会議 |
| 2 事業費 | 4,145,579 | 6,000,000 | △ 1,854,421 | |
| ① 調査研究・研修事業費 | 73,154 | 100,000 | △ 26,846 | 各研究会講師料等 |
| ② まちづくり事業費 | 0 | 0 | 0 | |
| ③ スポーツ文化的事業費 | 274,957 | 300,000 | △ 25,043 | 収入2-③欄参考 |
| ④ 自然体験事業費 | 3,797,468 | 5,400,000 | △ 1,602,532 | びわこセツルの家3,127,745 東吉野村山の家669,723 |
| ⑤ 小中高生の生活体験事業費 | 0 | 200,000 | △ 200,000 | |
| 3 雑 費 | 39,780 | 300,000 | △ 260,220 | お祝い、弔花、日地協事務局長会議交通費等 |
| 4 予備費 | 0 | 50,000 | △ 50,000 | |
| 5 次期繰越金 | 6,519,027 | 4,999,500 | 1,519,527 | |
| 支出合計 | 11,140,316 | 11,619,500 | △ 479,184 | |

2014 年度 自然体験施設事業 決算内訳

収入の部

| 項目 | セツルの家 | 山の家 | 助成金 | バザー | 総合計 |
|-------------------|-----------|---------|--|---------|-----------|
| 利用料収入 | 3,625,300 | 94,000 | | | 3,719,300 |
| ワークキャンプ参加費 | | 33,500 | | | 33,500 |
| 寄付金 | | | 80,000 (毎日新聞) 116,000 (善意銀行) 200,000 (府福祉基金) | | 396,000 |
| その他収入 | | | | 924,851 | 924,851 |
| 雑収入 (公衆電話・利息等) | 2,140 | 52 | | | 2,192 |
| 合計 | 3,627,440 | 127,552 | 396,000 | 924,851 | 5,075,843 |

支出の部

| 項目 | セツルの家 | 山の家 | 合計 | | 備考 |
|-----------|-----------|---------|-----------|--|-------|
| 事務費 | 22,272 | | 22,272 | | |
| 管理費 | 120,000 | 120,000 | 240,000 | | |
| バス借料 | 2,061,237 | | 2,061,237 | | |
| 備品・寝具 | 199,264 | | 199,264 | | |
| 修繕費 | 153,855 | | 153,855 | | |
| 保険料 | 23,720 | 25,490 | 49,210 | | 火災・WC |
| 光熱水費(電話) | 337,898 | 95,350 | 433,248 | | |
| 雑費 | 118,299 | 23,347 | 141,646 | | |
| 固定資産税等 | 91,200 | | 91,200 | | |
| 平野区自治会協力費 | | 50,000 | 50,000 | | |
| 借地賃貸料 | | 150,000 | 150,000 | | |
| ワークキャンプ経費 | | 205,536 | 205,536 | | |
| 合計 | 3,127,745 | 669,723 | 3,797,468 | | |

| | |
|-----------|-----------|
| 自然体験事業総収入 | 5,075,843 |
| 自然体験事業総支出 | 3,797,468 |
| 差額 | 1,278,375 |
| 本部会計助成金 | |

会長 永岡 正己 様

NPO 法人 大阪市地域福祉施設協議会の監査結果について

帳簿、領収書等精査した結果、適正に処理されていることを確認いたしましたことをご報告いたします。

2015年5月9日(土)

NPO 法人 大阪市地域福祉施設協議会

監事

戸田 正三 

監事

篠瀬 実千代 